

マーケットの動き（2025年10月27日～10月31日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいでした。
30日まで開いた日銀金融政策決定会合で政策金利の据え置きが決定され、総裁のハト派的発言などもあり、国内長期金利は低下しました。週末には米国長期金利の上昇や、株高を受け債券は売られ、ほぼ横ばいで週を終えました。
クレジット市場は、旺盛な投資家需要を背景に、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年10月）

国内長期金利に対する上昇圧力は続く

円安一服や原油価格下落に加えてコメ価格の落ち着きなどからインフレ率は徐々に低下するとみられる一方、米国関税政策を巡る不確実性がやや後退し、株式相場が堅調に推移する中、日銀は年内に利上げを行うとみています。また、政策面では財政拡張に向けた動きが予想されることもあり、国内長期金利に対する上昇圧力は続くとみています。

	10月31日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.65	0.00	0.02	0.34	0.71
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	344.19	0.05%	0.17%	▲2.00%	▲4.53%

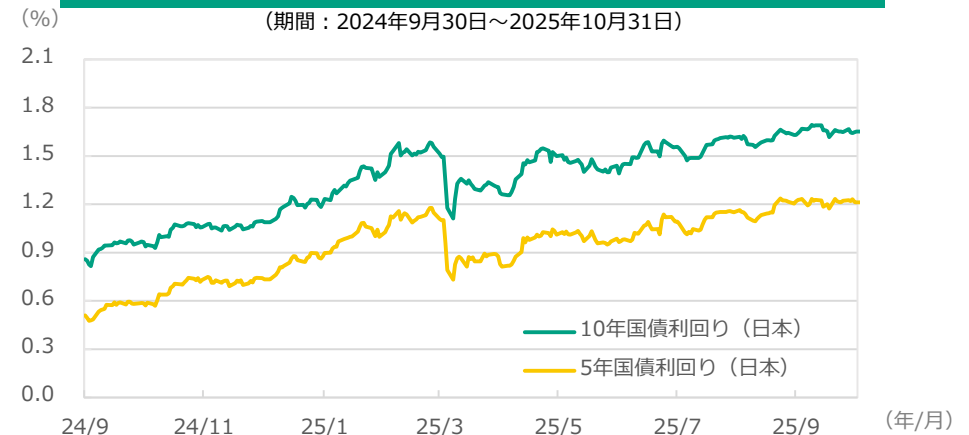
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202510_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2024年9月30日～2025年10月31日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年9月30日～2025年10月31日）



※2024年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>